

北海道新聞 自治体PR・地方創生関連ご案内

≪小清水町DMO対談企画≫

紙面にて「バードウォッチングを起爆剤とした欧州インバウンド受入プロジェクト事業」を発信

小清水町瀧沸湖、小清水町全体で、日本に渡ってくる野鳥種の7割をも見ることができるとい... 北海道新聞社と北海道宝島旅行社と協働で、小清水町に対して、地域にある観光資源に精通し、地域と協同して観光地域作りを行う法人であるDMO (Destination Management Organization : デスティネーション・マネージメント・オーガニゼーション) の提案をしました。

ちょうど、小清水町でも優れた自然を活かした小清水町活性化を模索しており、3者の気持ちが合うことで地方創生交付金の「バードウォッチングを起爆剤とした欧州インバウンド受入プロジェクト事業」を国へ提出し、認められました。

紙面の掲載後、小清水町へ紙面パネルの納品と共に反響を伺いに行くと、晴れ渡った小清水のブルースカイと斜里岳がマッチングした紙面を多くの方に喜んでいただけていました。また、小清水観光協会にも印象を伺うと好感を持って受け入れられたことを肌で感じるような声をいただきました。

認定事業は最長5年の認可となっており、小清水町も基本予定として5カ年計画でいます。北海道新聞をより信頼していただけるような、しっかりと紙面を作りと更なる提案をし、引き続き、小清水町がバードウォッチングのメッカとなるお手伝いをさせていただければ嬉しい限りです。(北見支社営業部 村田孝二)

新聞記事のスクリーンショット。タイトル「鳥と花の楽園 小清水」。記事内容は「欧州インバウンドに向け野鳥観察の魅力」や「町の間格と行動力」に関する対談企画。写真には野鳥、花、そして町の人々の姿が写っています。

(2017年2月19日 朝刊 全道版 全15段)

◆お問い合わせ／北海道新聞社営業局 (TEL011-210-5713) または 各支社営業部へ (2017.10)

* ウェブサイトにバックナンバー掲載中！【道新 営業局】で検索！ (http://adv.hokkaido-np.co.jp/)